

は  
ア  
シ  
ウ  
ル  
Nº9

長崎女性問題研究会  
事務局・松崎登子

逐次刊行物  
'14.10.15

國立女性教育會館

斗争女のスタイル

「う女のスケルプル」  
—オニコ文化講演会より

為時、身の程知らずの高望  
囁みを持つてしやう。野呂那  
獨さん、強辭めば子さん、  
小次連子さんと、よくも厚  
かきくお願いしたので  
快く引受け下さったので  
二人に改めてお礼を言つた  
しかし、私たちの会には  
どうしてお掛けられても  
い自立の精神があつて他  
の方ではダメなのである。  
新しく価値を創造していく  
人一人、ラーニング力の高い  
方である。こうして三回のすげ  
らしく講壇を主催できただこ  
とを喜んでいる。不十分な  
点も多いが、新たに高い  
評価を自身へ向け直  
い。次の会に一歩ずすめだ

女の性を考える

女より、あなたへ  
赤裸々に性を教ろう

小沢遼子講演会

二二一 言二  
この四式をほるかに起えて、  
男のせきしと個人的にも  
在食的にも要求してこそ、  
両性が幸福になれる、だが  
少、身边が男となり一度  
見直す所から始まるのだろう。  
(寒亭)

とこうで、私は今、川説  
遠子さんのスタイルを研究中である。1こころば時、ど  
んびトーンで話すかな?  
さて、どんび凡て苟くがし  
ら、ミニアトロ、オホ笑って  
から一美・斗うやは、優雅  
びびきやタメヨーでび具  
食い。あの娘さ、あり方  
なぜか何とかがわがわい。心  
キヤリアの差といつものか;  
今回の講演では、ありだた  
めて性を中心とする教養の間  
も考えた。女の中で異体的  
にいていた(桑原)。

月十四日、一人の女  
が壇上から語りかけ、  
白人を越える女達と二十人程の男達が、それへ聞き入り笑つたり問ひ返したり。B.W.文化講演会は予定期間を大幅に超過じてスガスガしく熱っぽいムードで終る。娘尼寺中には、はじめてこの会が与えたもの一倍何百人もの人が、女の解放を求めるB.W.会の更なる前進の序曲に、大いに誇った三時間余りの一部を、娘尼寺に組む反省会する。

ト、仲間のせ違とほい。女前とおもふ。うなづきを聞きましでト。ところが年配の方はどうだつたのです。初めは恐るゝ聞りで、すが新鮮だ、です。ねむかう一度、人生の如き直しあつた。て思ひます。今、仲間内で曰へる。アーチーの女たちよ。アーチーは、身の上相談に来る人にまじやくさんの中を實ります。もう十九年前、やめて結婚してしまはずよ。生徒の間柄は流れちやうて、初めはドツキリ・ジツツリ、シコツクミ多ナタフテク。いう反へも、絶対に小次ミスンの真の持ち味はふれてぬ。女話が女友達をつくろうて、うには其場しへ方があがた。II もつと聞きだす男の意見II

川添さんの話を聞いたのは  
2度目である。昨年7月、初めて話をして聞き、頭の回転が早  
く、どんな難問題でもこなしてしまった。  
次第、今度、又お目にかかる  
たとえ思つた。こんな女の人も  
いたかと大いに興味をもつた。  
で大変うれしい。好きなタイ  
アである。笑顔がとてもチャ  
ーミングなのである。そして  
電話がうまいのである。

壇上より性について堂々と  
話ができるんだ、うらやま  
しく、さわやかな気持にさせ  
られました。同じ年代であり  
ながら、私自身、他人と性にさ  
づいて話などしたことがない  
のである。

精神的解放は、経済的独立  
ができてこそ、初めて得られ  
るものだと、つくづく感じる  
この頃である。そして充ち足  
りたさやかな毎日を過ごし

## チャーニングな笑顔

前田保子  
公務員

たいものである。

無意諾に女性差別が

会場に入ったのは、予定時間を40分程過ぎていた。女性の多い会場で、照れながう席についた。蓬子女史の書いた本は、友人にすすめられて、2冊読んでいただけに、女史の方に興味をもつて、講演に耳を傾けていると、二の講演は、男性も同時に聞くべき内容が多分にあると感じるようにだ。

女性の性に対する具体的な知識と発表は、男性をして性の教育となり得るし、両者の平等は、眞の愛情につながり、男女間の葛藤も減少されることであり、それが平和につながると考えられよし、今までの時期が到来していることを、女史は先鞭をきって述べておられ

性は女にとてトータルな愛情表現であり、男は技術論に片寄りすぎる點をどうかなか、と首をかしげている。小沢さんの「女の性を考える」は私には、いろんな角度から参考になつた。「性行為を行なう」と「なぜ」「オ○○○」といわないと、「キ○○○」といわないと「の」が「こんなことを考えたこともなかた私は、私が無意識に女性を差別していることを知らされた。私は女性差別にあまりに無神経なうだ。

大勢の女の中で、しかも女の語る講演を聞くのは初めて。気恥ずかしくて床に

D T A C  
スカツとしてヒーロード  
が強いやうど、男の人はどう  
感じでのでしょうね。  
O 私の駄湯の60才位の男性  
なんですか。こゆ併男の人  
にさせたいって言われます  
いた。実際、私もそう思い  
ました。  
A 会場のアンケートに答え  
てすぐたゞ男性で、私と一緒に  
は非常に不愉快なんですが、  
女性問題懇談会の先生とい  
う人が、「神は男より女が  
勝れたら人間だから、子を生  
む宿命を授けられた、生物  
と一緒に優劣性が逆にか  
かるべき男性に対する社会的  
差別性をあだらしたと考え  
てはどうか」と女性問題の要  
湯に出てはましくお詫びの言  
葉を述べておられました。  
A そこで力づけるのではなく  
かまうど、小原さんだけだ  
ら一男は死ぬのよ、いいい  
じやつりの、こだえてるの  
よ、利運の事、てお事がし  
たる人の心理、その他の  
もの、こののよ、女が、  
川原さん、共鳴できません様  
な男、女からの人で

しょう。男性がそこまで貢めてくればさいやいけない段階にはなってゐんじですが、男の人の気持ちの方と聞いてみたりですわ。二の会のタイトルで、来るにものすごくたまに来ただといふ感じがありまして、たしかに名は公費をどんどん入れて、会を通じて男友達とふれあつてのうの幸いです。

II ケンカしちゃうのは、ほんのマジ  
A 小説さんと、もつと誰し  
T うか? だと思ふます。B.  
CDI ねにつけばどう思つ?  
A 「年令のひろがり」があつ  
B. すぐこの「年令のひろがり」を  
C. うらしくやめよくなつて、  
D. うらしくして、活動に力が  
E. ある、感じでして、期  
F. 翻訳の会で力があるゆえ  
G. 広く女の問題と運動の在  
H. り方等、実に込んだ話が(在  
I. てみたが、です。)  
J. でも、如何でこれだけ  
K. 性の話が不�ンばれてしま  
L. う。言葉の問題は、ころ、女  
M. の性を男としめてきた老女の  
N. ですから、女性の体の名称がもと  
O. で、女の性はありながらて  
P. ない。性すらけいふより下  
Q. がけいふより下

のコリークは現時東において  
真向から性に取り組んだとい  
うことで高く評価するが、や  
はり男の目から見た男の優レ  
さしかあり得ないところに限  
界がある。といふのである。  
そつだ、私の言いたかったこ  
ともそつだ。性描写  
に抵抗がないと言えばウソにな  
なるが、それよりも僕には、  
たのはあまりに單刀直入に表  
現されてゐる性、いきなりす  
ぶ、とやうれることは、女は求  
めていられない。それを男が女に  
対する優しさ、女の性と感違  
いされでは困る。もっと私達  
は相手と語してゆかなければ  
いいのだ。翔んでる女とち  
やかされながらも何故、結婚  
しない女、や「ミスター・ケック  
ドバー」を探してしの主人公達  
いふといふことで嬉しかった  
か、いるのか?私はこの思いを  
いいつしよに共有できる女達が  
いたのですが、男の争護人  
がワイヤーを國家権力との関  
係性論理で立てているのに対

して、小沢さんは「女の側からいえば権力の何のとつうのは問題ではない」といふたのは何を指していいたのです。私は多分、権力より前段階で女の目から見たワイセツと男の目から見たワイセツがそもそも違うのだと強調したか? たのだろうととりましたけれど、スッパリ否定されると女性解放と社会問題のかかわりあい方はどうなるのだろかと疑問が残りました。その後と関連して「又」「ドショ」のよくな商品化された性についての質問の時にも「職業に貴賤はない」。現在男が女を見るといふ一方向の矢印しかないが、逆方向からも男を見るといふ逆方向の矢印もできたらそれでよいのではないか」と小沢さんは答えられ、それは最もだと同感しましたが、実際「ヌードダンサーの仕事に就く場合、自分の美しさを見てもらうあと主体的にこの職業を選ぶのだろう

か。どうしないと生計を維持できないから、それを選ばざるを得ないのではなかろうか。そしていつも右辺層で喘ぐ人々が性を賣り、ゆとりある人が商品化された性を楽しむ。かつての天草の「からゆきさん」がそうだったようだ。果して両者に矢印が向かい合うことですかね？」だうか。

“と感じてしまつた。  
「の方が男より性行為 자체を大切にしていろ」とはいかなかった。それを机りどころにし、女は男より尊いといふ運動を展開して行きなさい、といふのならすんなり受け入れることができるようだが、それは主張はさらない。講演後の若い女性の質問で話された又一ドもよいではないか。あれは男が見て価値あるもの。男性の又一ドもある。」を補足して考えれば、結論は、性史研究家のもうさわよしこ女史は次のように述べていうにしやる。  
「基本的な人間課外の状況をそのままにして、女の解放像を作ろうとするは、これは根のないこと。社会が变了だからといって、人間とは何か、といふ出会いとは何か、といふ

女性問題と社会の

大清一統志

竹原幸子 無職  
行動を起こしたい女の会

を考える」という人尚存在の最も奥深い問題でありながら、現在の社会では個人的な問題としてしか位置づけられず、タブー化された難かしい問題であり、それを小沢さんはどんな風に語り、そして女性解放などどのように結びつけていけばよいかを探る手掛りを得られたらと思ってこの講演にのみました。彼女は「女性の性」を言葉に手こずりながら、それなりに独自のユーモアを含んで語してくれ、私も樂しく聞かせてもらつたのですが、すっかり胸に迫って響くものが感じじられず、もの足りなさを覚えたというのが正直な感想です。

# 男と女の童話

森裕子 漢文

とでしょう。  
地位もない財力もない人向  
こうしての体験も古い女が、或  
る意味では無錫砲でもある足  
並みの青さに、それだからこそ  
何とはなしに魅力をおぼえ  
、この若さに共鳴し、危ぶみ  
つづ昌隆しようとする未知な  
ものへの探求を続ける欲望の  
火を阻止することは出来ない  
と思います。  
僕くはあつたが、殆んど会  
場を埋めつくした若い女性の  
瞳に何かを求めるようとする息  
を感じ、この空氣をまともな  
るものとして、埋め育てていき  
たいと念じます。  
若いものをよい意味に集  
り越えて、自己を捨てて歩く  
女性の力を伸ばしたいと思ひ  
ます。  
最後にあなたがいわれた言  
葉「文明の門内であり、原爆  
の流れを受けた長崎の女が、  
率先してなすべきことがある  
筈」これが印象的でした。され  
ばして今ひとつ、一時的で  
はあれ、おばあちゃんのことこ  
ろへ出られたお子様が「お母

## 本の紹介

\*『自分をみつける旅に出てみた』  
ナンシー・ウェバー 三笠書房  
サブタイトルは、愛と孤独のニューヨーク日記  
原題は The Life Swap  
—ノンフィクションスタイル—  
どちらも31才の女性の作家と社会学者が、1ヶ月  
約束で完全に「人生」を交換した。自立する女の  
戦苦闘の一画面とニューヨークの表情がショッキング  
だったが、70年代のニューヨークの女性の暮し具  
的にある。言葉や原題もさまで小さな小道具が  
ほしい。

「さん」といって仲良くなってくれるよう祈つてやみません。尚又、貴重な浦和の市議として立派に再び成功されよう願っています。

小さなアパートの一室に、貧乏な絵描きの男女が住んでいました。2人とも人間は裸の時が一番美しいと思う点で一致していました。昼夜は2人で街頭に立ち、似顔絵描きをしてどうにかその日の日の暮しがたてていきました。夜になると、男は女の、女は男の裸の姿をみつめ合い描きつづけました。ある時、2人は同時に今度の美術展に出品する絵を描き始めることにしました。そして絶対に出来上がる日まで、お互いつ作品をのぞかないことを誓い合いました。女は黙々と仕事を続けました。ところが男の方は着衣ふりをしていますが、あることが気になってしまひたがありませんでした。その不安は日に増すについたがって、ついにきます。

とうとうあの日、絵筆を忘れたと嘘をついて、一人アパートへ帰りました。そして彼女との固い約束を破つて彼女の絵の前に立つてしましました。

彼の目にまず映ったのはみごとに描き出された彼のシンボルでした。

男はそのままアパートを出ました。

小沢遼子さんへの手紙

田吉千工  
74才

はつでんウーマン会長  
新年早々、小沢遼子氏の「よその連合太平記」を読み、同時にあなたの声を聴きました。女ひとり、勇ましく生き、自由に熱弁をふるう生き様が、何故か、今、BW会の苦闘の姿にも似て、微笑しくも痛々しくもあり、反省させられました。  
市議として活躍中の具体的な女の生き方をもつと知りたいと思っています。数少ない女性として、如何に辛く、然し女でなければならぬ仕事が小気味よく続けられていくことと思います。全国を要望に応じて人間の生き姿を見ていく中で、女はこれでよいかという事実を火山持たれているこ

編集人  
鶴 初美  
岸本 桂子  
白石 順子

\* X 王 \*

# 伝言板

\* 1円玉・5円玉カンパの総額は1月31日現在で、7180円です。残っているコインをもと動員しましょう。  
(世話を人後藤)

★3月4日(日)「行動を起したい女の会」主催によるパネルディスカッションが開かれます。  
『女にとって主婦的状況からの自立とは』  
日時 3月4日、午後1時～4時30分  
場所 出島会館ホール(長崎税関横)

\*市民会館 図書室に「女性文化の創造へ」 湧美育子  
「女の子の育て方」 福口恵子

が入っています。私たちの希望する図書の購入を、どうぞ  
申し入れましょう。  
司書の木村さんに相談してみて下さい。とても親切に助言  
してくれますよ。女性関係図書は分類番号367

\* 磯野純子さんに2月9日、女の赤ちゃんが生まれました。  
私たちが後継者に祝福を!

▼編集担当とは名ばかりのこの半年でした。退院後の体の回復が遅々として、平凡なこと作ら健康第一と痛感。会員の皆様もご留意を。編集は岸本さん達の若さと情熱とファイトで燃えています。私もこの春から参加できこうです。皆様のご意見、ご投稿をお待ちしています。(鶴)

編集後記